ver.1.0　2026 年 10 月 29 日作成

新潟県立がんセンター新潟病院　オプトアウト書式

①　研究課題名	胃がん術中迅速病理診断支援 AI アプリケーションの開発
②　対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象は，2017 年 1 月から現在までの間に胃がん手術を受け，手術中にがんの有無を病理学的に検査した方になります．研究責任者は当院病理診断科の川崎　隆です．	
③　概要 　手術中にがんの有無を病理学的に検査することを術中迅速病理診断（以下迅速診断）と言います．胃がん手術における迅速診断には，切除断端や腹膜におけるがんの有無の確認があります．この検査でがんがあれば断端が追加切除され，腹膜にがんがあれば化学療法が行われます． 　今回の研究目的は，病理医が行う迅速診断を補助する AI アプリケーション開発です．これまでに診断され，がんがあった方の組織標本を AI に学習させます．学習によりさまざまなパターンのがん組織を認識できるようになります．	
本研究では、過去の迅速診断で用いた組織標本を利用します．対象の方に生じる負担や危険はありません．また，研究参加拒否の申し出があった場合は，被験者のデータは解析から削除し廃棄します．	
④　研究の目的・意義	胃がん手術における迅速診断の補助となる診断支援システムの開発
⑤　研究期間	実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	今回研究に用いる組織標本は，組織形態を観察するために染色された HE 標本で，ガラスの上に薄くスライスした組織がのっています．組織標本を解析委託業者に送り，組織の撮影と AI 学習を行います．組織標本に記載のある標本番号と氏名の個人情報はマスキングして送付します． 組織標本送付先：雲象科技 115 台北市南港區忠孝東路七段 508 號 15 樓
⑦利用または提供する情報の項目	本研究で利用するものは，迅速診断でがん組織が確認された方の組織標本のほか，がんの組織型，分化度，がんの広がりなどの病理診断所見です．
⑧研究組織および利用する者の共同研究機関	新潟県立がんセンター新潟病院単施設の研究です．
⑨試料・情報の管理について責任を有する者	新潟県立がんセンター新潟病院　病理診断科　川崎　隆
⑩お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします． 所属：病理診断科 氏名：川崎　隆 〒951-8566　新潟県新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3 TEL：025-266-5111
⑪研究代表者	施設名：新潟県立がんセンター新潟病院 氏名　：川崎　隆 TEL：025-266-5111